

# 令和2年度の決算について

2021年7月  
大阪府道路公社

大阪府道路公社は、5路線の管理運営を行っていましたが、平成30年4月に堺泉北有料道路と南阪奈有料道路を西日本高速道路株式会社へ移管し、さらに平成31年4月に第二阪奈有料道路を同社に移管しました。令和元年度より鳥飼仁和寺大橋有料道路及び箕面有料道路の2路線の管理運営を行っています。この度、令和2年度の決算概要及び中期経営計画（令和元～3年度）の目標達成状況について取りまとめました。

## I 令和2年度決算概要

- 第二阪奈移管後の継続2路線（鳥飼、箕面）の収入は17.8億円に対し、維持・管理費及び一般管理費が計10.6億円で、収支差は、7.2億円となり、これを償還準備金等繰入額として繰り入れました（表1）。
- 流動負債（2.0億円）と固定負債（52.2億円）の合計（54.2億円）より流動資産（242.7億円）が多いため、借入金は実質的に、ゼロになっています（表2）。

表－1 損益計算書（継続2路線）

（単位：億円）

	令和元年度	令和2年度	増減額	対前年比
有料道路事業収入	18.2	17.8	△ 0.4	97.8%
道路料金収入	18.2	17.3	△ 0.9	95.1%
業務外収入	0.0	0.5	0.5	1666.7%
<b>収益合計</b>	<b>18.2</b>	<b>17.8</b>	<b>△ 0.4</b>	<b>97.8%</b>
有料道路事業費	18.2	17.8	△ 0.4	97.8%
有料道路事業費	17.5	16.2	△ 1.3	92.6%
道路維持費	3.3	2.4	△ 0.9	72.7%
道路管理費	6.5	6.6	0.1	101.5%
特別法上の引当金繰入額	6.7	7.2	0.5	107.5%
償還準備金等繰入額（注）	6.7	7.2	0.5	107.5%
業務外費用	1.0	0.0	△ 1.0	0.0%
一般管理費	0.7	1.6	0.9	228.6%
役職員諸給与	0.6	1.5	0.9	250.0%
管理諸費	0.1	0.1	0.0	100.0%
<b>費用合計</b>	<b>18.2</b>	<b>17.8</b>	<b>△ 0.4</b>	<b>97.8%</b>

（注）償還準備金等は償還準備金と道路事業損失補填引当金を合わせたもの

表-2 貸借対照表（公社全体）

（単位：億円）

資 産 の 部				
科 目	令和元年度	令和2年度	増減額	増減率
流動資産	277.5	242.7	△ 34.8	△ 12.5 %
固定資産	645.1	645.1	0.0	0.0 %
道路資産	645.0	645.0	0.0	0.0 %
有形固定資産等	0.1	0.1	0.0	0.0 %
資産合計	922.6	887.8	△ 34.8	△ 3.8 %
負 債 及 び 資 本 の 部				
科 目	令和元年度	令和2年度	増減額	増減率
流動負債	20.8	2.0	△ 18.8	△ 90.4 %
固定負債	70.8	52.2	△ 18.6	△ 26.3 %
政府借入金	54.7	39.7	△ 15.0	△ 27.4 %
その他借入金	16.1	12.5	△ 3.6	△ 22.4 %
特別法上の引当金等	288.7	291.3	2.6	0.9 %
償還準備金等（継続2路線）	123.5	130.7	7.2	5.8 %
償還準備金等（移管3路線）	（注）165.2	（注）160.6	△ 4.6	△ 2.8 %
負債合計	380.3	345.5	△ 34.8	△ 9.2 %
基本金	500.2	500.2	0.0	0.0 %
大阪府出資金	500.2	500.2	0.0	0.0 %
資本剰余金	42.1	42.1	0.0	0.0 %
工事負担金	42.1	42.1	0.0	0.0 %
資本合計	542.3	542.3	0.0	0.0 %
負債及び資本合計	922.6	887.8	△ 34.8	△ 3.8 %

（注）移管3路線の損失補填引当金である（償還準備金は路線移管時に償還に充当）

## II 中期経営目標に対する達成状況

当社は、安心・安全な道路サービスを提供しつつコスト削減を図り、建設費の計画的な償還に努めることとし、中期経営計画（令和元～3年度）期間内の、各年度の償還準備金等繰入額及び償還準備金等積立額を中期経営目標として設定しております。

令和2年度の経営目標に対する取組み結果については、以下のとおりです。

表-3 中期経営目標と決算の比較

（単位：百万円）

（損益計算書ベース）	令和2年度（2路線）		
	中期経営目標(A)	決 算(B)	(B) - (A)
通行台数(台/日)	20,352	18,993	△ 1,359
収益(料金収入等) ①	1,894	1,783	△ 111
費用(道路管理費等) ②	1,050	1,065	15
償還準備金等繰入額 ①-②	844	718	△ 126
償還準備金等積立額	13,055	13,069	14

○ 1日あたり通行台数の、中期経営目標との比較では、新型コロナウイルスの影響等により鳥飼は500台の減、箕面は859台の減、2路線合計で目標に比べ1,359台の減となり、収益も約111百万円の減となりました。

- 費用は、第二阪奈の移管収入による繰上償還により業務外費用（支払利息）約95百万円の減となったものの、鳥飼の中央分離帯防水工事が点検結果により補修工法に変更が生じたため、工事費が増加する等、全体として約15百万円の増となりました。
- これらの結果、償還準備金等繰入額（※1）は経営目標に比べ、約126百万円の減となりましたが、償還準備金等積立額（※2）については、約14百万円の増となりました。

（※1）事業年度毎に、道路料金徴収額の一定の率（12%）を積み立てる道路事業損失補填引当金と、有料道路事業費の収支差益を積み立てる償還準備金を合算した額。

（※2）これまでの各事業年度の償還準備金等繰り入れ額を、合算した額。

### Ⅲ 移管3路線を含めた公社5路線の建設費の償還状況

建設費の資金構成と償還状況

